

◆ 被害状況（胆振総合振興局管内）

- 人的被害 ～ 死者40名、負傷者382名
- 住家被害 ～ 全壊358棟、半壊843棟、一部損壊6,937棟（合計8,138棟）

◆ 仮設住宅等の状況（胆振総合振興局管内）

- 合計 422戸 708名
（うち応急仮設住宅199戸427名、みなし仮設住宅68戸126名、福祉仮設住宅129名、鷗川高校仮設寮 26名）

いぶりONE復興プロジェクト推進室の設置

(H30.11.22)

- ・公共インフラや産業被害等の復旧・復興、人口減少対策、食と観光を通じた復興等を総合的に展開するため、胆振総合振興局内に設置
- ・被災地域の災害復旧を進めるとともに、地元市町や関係機関等と一体となって、地域特性を生かした地域復興策を実施

1 これまでの取組内容

いぶりONE復興プロジェクト推進室を立ち上げ、被災3町への事務支援や、関係機関等との連携強化（現地連絡調整会議、道派遣職員(技術)との意見交換会）及び震災復興パネル展の開催等、被災地域のニーズに対応した事業を展開

2 震災1年を迎えた振興局事業

- 千羽鶴贈呈(9/2) ～ 振興局職員で作成した千羽鶴を局長から町長へ贈呈
- 報道機関に向けた工事現場視察会の実施(9/4)
～ 振興局・被災町で実施している復旧工事の工事内容等を報道機関に発信
- 胆振東部地震 慰霊献花台設置(9/6～8) ～ 厚真町吉野地区に献花台設置
- 胆振東部地震パネル展の開催
～ 創世スクエアHTBIツタホール(9/6)・道庁1階交流広場(9/6～9/9)等で開催
- 北海道胆振東部地震からの復旧・復興シンポジウム(10月21日/厚真町内) の開催

3 今後もきめ細かく被災地を支援

- 定期的に3町を訪問し、被災地域のニーズを把握
- 被災者の健康管理（仮設住宅入居者及び住民全体の健康状態を管理）
- 胆振東部3町 ふっこう応援スタンプラリーの実施(9/6～11/24)
- 地域産業の復興（食のアンバサダーによるシーベリーの販路拡大等）
- ロードマップによる各種事業(復旧工事等)の進捗管理（毎月取りまとめ、課題の共有と解決を図る）

現地連絡調整会議



道派遣職員(技術)との意見交換会



千羽鶴贈呈



胆振東部地震災害復興パネル展

